

県水送水管耐震化事業（２系統化）
金沢市大河端町～福久町間の供用開始について

県では、手取川ダムを水源として、県民のみなさまに安全で安心できるおいしい水を供給するため水道用水供給事業を行っています。

平成１９年に発生した能登半島地震を契機に、災害時にも安定して水道水を供給するため、平成２２年度より既設の送水管とは別ルートで耐震性の高い送水管を整備し、耐震化（２系統化）を進めています。

今回、金沢市大河端町～福久町間について、７月４日に供用を開始します。今後とも、県水送水管の耐震化工事を進め、安定的な水道水の供給に努めてまいります。

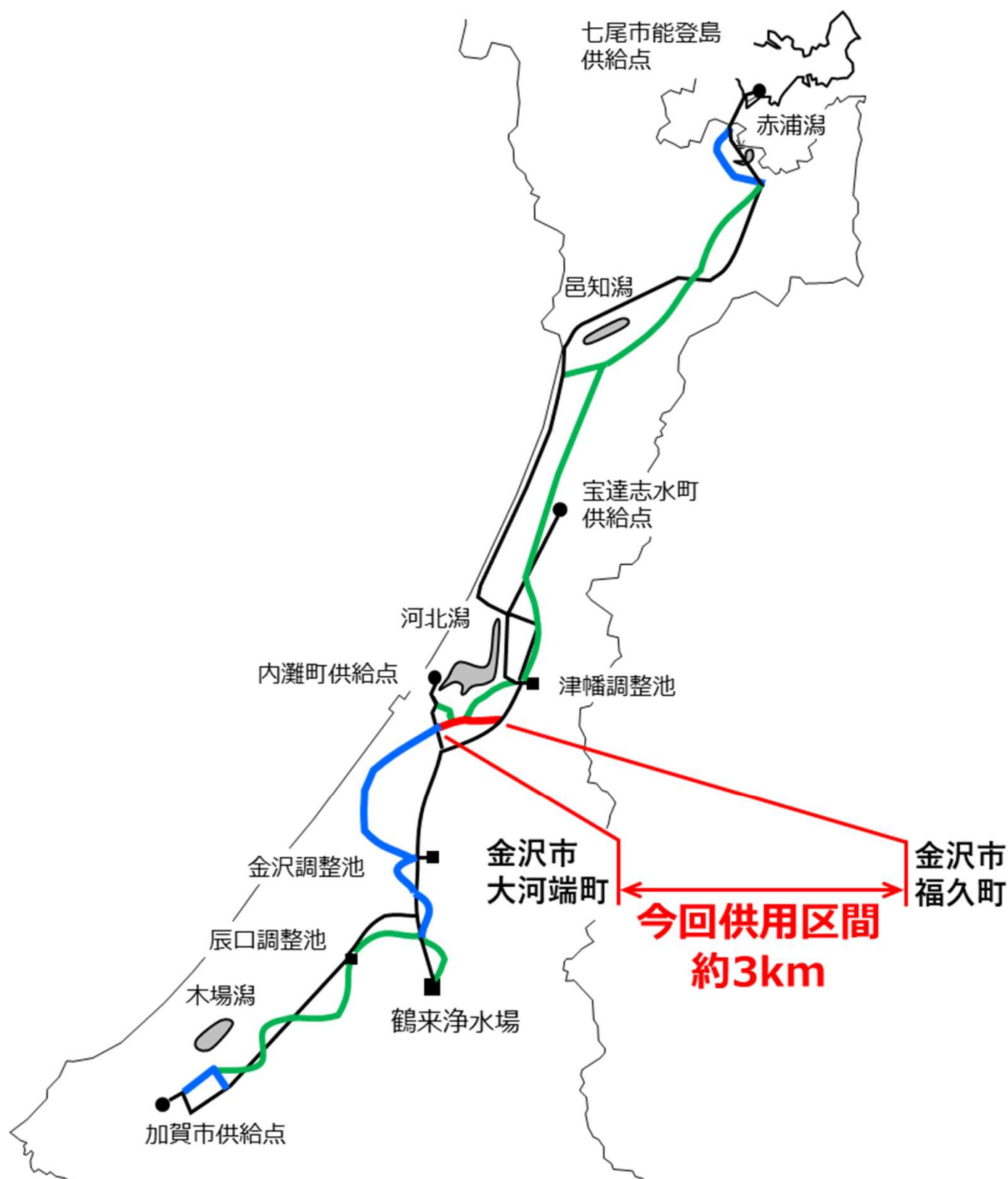
【供用区間概要】

供用区間： 金沢市大河端町～福久町
延 長： 約３ｋｍ
供 用 日： 令和７年７月４日（金）

【耐震化事業概要】

計画延長： 約１３０ｋｍ
供用延長（今回含む）： 約３９ｋｍ

金沢市大河端町～福久町間の供用を開始します。



- ・供用開始日：令和7年7月4日
- ・供用区間：金沢市大河端町～福久町
- ・供用延長：約3 km

凡 例		
既 設 送 水 管		
耐 震 化 事 業	今回供用区間	
	供 用 区 間	
	未供用区間	